



藤井八冠独占

史上初 王座戦制し達成

将棋の藤井聡太名人・竜王(21)が史上初の「八冠独占」を達成した。名人・竜王・王位・叡王・棋王・王将・棋聖という七つのタイトルを保持する藤井名人が11日、第71期王座戦五番勝負(日本

経済新聞社主催)第4局で永瀬拓矢王座(31)に勝ち、シリーズ成績を3勝1敗とし、唯一残っていた王座のタイトルを奪取した。

京都市であった王座戦第4局は永瀬王座の先手

番で、戦型は両者得意の「角換わり」に。持ち時間は各5時間だが、消費時間は藤井名人の方が3時間も多い場面も。「永瀬王座の研究が生きたのでは」と検討陣。だが、夕食休憩後の夜戦に入

り、形勢は逆転。藤井名人が勝利した。

藤井八冠は2016年に史上最年少の14歳2カ月でプロ入りし、史上5人目の「中学生棋士」に。デビューから負け無し、29連勝という新記録で藤井ブームを巻き起こし、20年には初タイトルの棋聖を奪取した。

今年6月には20歳10カ月で初の名人位を獲得し、谷川浩司十七世名人(61)の最年少記録(21歳2カ月)を40年ぶりに更新。タイトルが七つだった1996年に羽生善治九段(53)が果たした全七冠制覇以来、史上2人目の七冠も最年少で達成した。



王座戦第4局に臨む藤井聡太名人・竜王
=11日午前、京都市、日本将棋連盟提供